

## 過去の定例教育委員会の会議要旨

開催日	会議要旨
平成22年4月13日	4月1日付の人事異動(課長級)や、各種規則、要綱等の改正について報告を受けました。また、公立教育施設規模適正化検討委員会を設置する規程を全会一致で可決しました。委員会では、議論の前提が統廃合ありきではないことを確認し、委員構成や委員会に招致する参考人の範囲について、意見や質問が出されました。教育委員会では、今後1年間をかけて、子どもたちのよりよい教育環境のあり方を議論していきます。
平成22年5月19日	4月から高等学校の授業料が不徴収となったことを受けた、国分中央高校の各種規則改正案を全会一致で可決しました。委員から遡及効果について質問が出されましたが、事務局から県、他市も同様の措置をとっており、国からの指示であることの説明がありました。また、各種条例審議会の補充委員、任期満了に伴う委員の選任についても可決しました。
平成22年6月21日	6月議会へ提案し審議中の補正予算の内容について、説明を受けました。また、集中改革プランの平成21年度の取組結果、今年度末の達成見込み状況について、項目ごとに内容の確認を行いました。特に学校給食の実施方式や公民館のあり方について意見や質問が集中し、今年度からそれぞれ検討委員会を立ち上げて、詳しく議論していくことを確認しました。
平成22年7月26日	国の制度改革により改正が必要となった職員の休暇に関する決裁規程の改正について、説明を受けました。また、事務局職員が実施した平成21年度施策評価について、討論を行いました。「学校教育の充実」については、学力向上プランの進捗状況についても、追跡調査を実施すべきではないかという意見や、国分中央高校の就職未決定者が減少したことを評価する意見が出されました。
平成22年8月17日	7月初旬の大雨災害に対応する補正予算について、原案のとおり専決処分することを承認した旨の報告を受けました。教育委員会関係では、国分中央高校の小畑農場が冠水し、肥料や機械設備が被害にあいました。また、国分中央高校の平成23年度の学科別募集定員について提案があり、事務局案を全会一致で可決しました。これから、新設スポーツ健康科や名称を変更したビジネス情報科をはじめ、園芸工学科等の生徒募集活動が本格化します。討論では、教育委員としての活動状況について自己評価を行い、項目ごとの評価点数を決めました。結果については、議会へ報告した後、ホームページで公表します。
平成22年9月21日	第6号補正予算を9月議会へ提案することについて、適当であると答申した旨の報告を受けました。また、平成23年度から実施する新規事業案について、討論を行い、きりしまっ子の成長イメージを掲載した10年カレンダーの配布事業などのアイデアが出されました。委員から、毎朝の児童の交通安全指導について動議が出され、未就学児をもつお母さんは免除してあげられないかという提案がありました。教育委員会では、今後管理職研修会などで検討を呼びかけていくこととしました。
平成22年10月12日	第二次過疎地域自立促進計画案を提出したこと、公立学校規模適正化検討委員会の協議進捗状況、今後実施を予定している保護者アンケートの内容について報告を受けました。また、前回に引き続き、平成23年度から実施する新規事業について、討論を行い、委員からパソコン等の情報教育を充実する方策を、検討するべきではないかという意見が出されました。なお、移動教育委員会で実施する市民との意見交換会では、各委員が分野ごとに自分の考え方を述べることとしました。
平成22年11月12日	指定管理者の委託議案を12月議会へ提案することの報告を受けました。委員からは市全体の類似施設の状況を確認する質疑が出されました。また、学校林管理規程の新規制定及び奨学資金貸与規則の一部改正が審議され、全会一致でそれぞれ制定、一部改正することを決めました。委員から動議が出され、いじめ問題について早期発見に全力を注ぐことが大切であることを確認し合いました。

## 過去の定例教育委員会の会議要旨

開催日	会議要旨
平成22年12月14日	12月議会へ提案中の第7号補正予算について、原案のとおり提案することを適当であると答申した旨報告を受けました。乗合自動車の運行管理規程の一部を改正する議案は、全会一致で可決しました。討論では平岡自治会の児童の地域行事への参加における問題点の説明を受け、今後関係者の意見をよく聞いて検討していくことを申し合わせました。
平成23年1月17日	国分中央高校で来年度から使用する教科書の採択結果について報告を受けました。また、始良伊佐地区教科書採択協議会の情報開示請求時の対応方法について、事務局を担当する市町の情報公開条例を適用するとの報告を受けました。そのほか、長期休業休暇中の授業実施の申請、承認手続きを明文化するための学校管理規則改正議案を、全会一致で可決しました。最後に委員から基礎基本定着度調査に対して、学校ごとに温度差があるのではないかと動議が提出されました。事務局は基本的な姿勢は変わらないが、調査をきっかけに子どもの学力を向上させようという熱心な教員は、過去問を解かせるなどの工夫をしているという答弁を行いました。
平成23年2月15日	第8号補正予算案、条例改正案2件について、市議会へ提案したことの報告を受けました。また、霧島市教育振興基本計画の一部改訂議案を、一部原案を修正して可決しました。内容は、国分中央高校の学科再編に伴い、「専門高校魅力発信事業」を取組事項に追加しようとするものでした。霧島市教育委員会の平成23年度教育行政の基本的方向については、事務局の原案に対し、各委員会から修正意見が出され、次回最終案を固めることとしました。委員から「小学校での英語必修化」について、「霧島市の具体的な取組状況を問う。」動議が提出され、学校教育課が今年度から小学校の希望教員を対象に研修会を開催している旨答弁しました。
平成23年3月15日	第9号補正予算案、平成23年度当初予算案について、市議会へ提案したことの報告を受けました。委員からは、平成23年度に新規事業が多数計画されているが、今年度限りで廃止する事業はあるかなどの質疑がありました。また、平成23年度霧島市教育行政の基本方向について、過去2回の討論結果を踏まえての最終案が提示され、教職員住宅の家賃改定に伴う規則改正案と併せて原案のとおり可決しました。 さらに、委員から小中学校での避難訓練の状況について、慣れあいになって真剣さが足りないのではないかと動議が提出され、今回の大震災を教訓として、工夫・改善を加え真剣に取り組むよう指導していくことを申し合わせました。